

(様式第4号) 狭山市地域資源管理システム機能要件表

事業者名
代表者名
担当者名

記入欄: 「○」…標準もしくは標準仕様で対応可能 「△」…オプションもしくはカスタマイズで対応可能 「▲」…代替案で対応可能 「×」…対応不可
※記入欄を「△」または「▲」にした場合はその費用を見積内を含むこと。記入欄を「▲」にした場合は実現方法を具体的に備考欄へ記載すること。

大項目	中項目	詳細	対応状況	備考	
基本要件	1	システムの安定性、構築期間の短縮、コストパフォーマンス等を考慮し、サーバ機器などのハードウェア等を必要としない本システム機能要件を満たすパッケージ化されたソフトウェアをクラウドサービス(ASP/SaaS など)として提供できること。			
	2	サイトの構成はシステム管理者から配布されたアカウントによりアクセス制限することで関係者だけが閲覧できる「関係者専用サイト」とアクセス制限がなく誰でも自由に閲覧できる「市民向けサイト」の2層式の地域資源情報管理システムを構築すること。			
	3	「関係者専用サイト」と「市民向けサイト」はデータだけでなく、検索カテゴリーや地区区分など含めて連動しており、「関係者専用サイト」でのデータ更新等の結果が「市民向けサイト」にて即座に反映されること。			
	4	「市民向けサイト」への情報公開は「関係者専用サイト」側の操作で実施できること。			
	5	「市民向けサイト」への公開作業は資源データ1件ごとに実施できること。			
	(ア) ユーザー管理機能	6	ログインID とパスワードによりシステムへのログイン認証ができること。		
		7	ログインID については原則として、メールアドレスで登録ができること。		
		8	システム全体の権限を持つ管理者権限を設定できること。		
		9	ID とパスワードの発行数には制限がなく、発行数に応じて費用が発生しないこと。		
		10	全アカウントID の権限は下記のとおり4段階で設定・変更ができ、その作業は管理者権限で即座に実施できること。 【Aレベル】すべての情報の閲覧・変更ができる 【Bレベル】すべての情報の閲覧・担当の情報の変更ができる 【Cレベル】担当の情報の閲覧・変更ができる 【Dレベル】(ス)グループ連絡機能のみ利用できる(地域資源情報は閲覧・変更できない)		
(イ) 地域資源情報に関する掲載分野、データ項目の拡張機能	11	「地区」の設定・編集は管理者権限で即座に実施できること。			
	12	「カテゴリー」の設定・編集は管理者権限で即座に実施できること。			
	13	「追加入力項目」の設定・編集が管理者権限で即座に実施できること。			
	14	「追加入力項目」はテキスト入力形式と選択回答形式で設定ができること			
	15	全データに共通する基本入力項目名称の設定・編集が管理者権限で即座に実施できること。			

(様式第4号) 狭山市地域資源管理システム機能要件表

事業者名

代表者名

担当者名

記入欄: 「○」…標準もしくは標準仕様で対応可能 「△」…オプションもしくはカスタマイズで対応可能 「▲」…代替案で対応可能 「×」…対応不可
 ※記入欄を「△」または「▲」にした場合はその費用を見積内に含むこと。記入欄を「▲」にした場合は実現方法を具体的に備考欄へ記載すること。

大項目	中項目	詳細	対応状況	備考	
システム機能要件	(ウ) データ入出力機能	16	検索結果のデータの全項目内容について「.xlsx」形式、もしくは「.csv(カンマ区切り)」形式で管理者がエクスポートできること。		
		17	エクスポートした「.xlsx」形式、もしくは「.csv(カンマ区切り)」形式に情報を記入してインポートすることで複数データの新規登録が一括で実施できること。(データを修正してエクスポートした場合はデータが上書きされる)		
	(エ) 地域資源情報登録機能	18	ログインID を付与された利用者は地域資源情報の新規登録ができること。		
		19	1つの地域資源情報を1レコードとし、レコードごとに「公開項目」と「非公開項目」の登録ができること。		
		20	1つの地域資源情報に対して、画像ファイルを複数個の登録・表示ができること。		
		21	1つの地域資源情報に対して、拡張子「.pdf」「.ppt」「.pptx」「.doc」「.docx」の形式で作成したファイルを複数個の(1ファイルあたり10MB以下)添付ができること。		
		22	地域資源情報に添付されたファイルはダウンロードができること。		
		23	地域資源情報にはURL 情報を登録することでリンク貼り付けができること。		
		24	地域資源情報は所在地の入力で位置情報に自動変換してマップに表示ができること。		
	(オ) 地域資源情報検索機能	25	緯度経度の入力をすることでピンアイコンの位置が変更できること。		
		26	住所や郵便番号、最寄り駅名、現在地の位置情報等から距離指定を行い、その圏内の周辺地図を表示し地図上で該当の地域資源を検索できること。		
		27	「地区区分」別の検索ができること。		
		28	「地区区分」や「カテゴリー」などを組み合わせた複合検索ができること。		
29		本会が設定した独自の「選択式項目」の回答選択肢による検索ができること。			
		30	テキスト形式の入力によるキーワード検索ができること。		
		31	全件表示だけでなく、検索機能で抽出したレコードだけをリスト表示できること。		
		32	リスト表示とマップ表示画面はワンクリックで切り替えができること。		
		33	リスト表示では各レコードの名称、電話番号、住所、カテゴリーを表示できること。		

(様式第4号) 狭山市地域資源管理システム機能要件表

事業者名

代表者名

担当者名

記入欄: 「○」…標準もしくは標準仕様で対応可能 「△」…オプションもしくはカスタマイズで対応可能 「▲」…代替案で対応可能 「×」…対応不可
 ※記入欄を「△」または「▲」にした場合はその費用を見積内を含むこと。記入欄を「▲」にした場合は実現方法を具体的に備考欄へ記載すること。

大項目	中項目	詳細	対応状況	備考
(力) 地域資源情報一覧表示機能	34	マップ上のピンアイコンについてはカテゴリーの大区分ごとに表示色の設定ができること。		
	35	マップ表示の地図機能については外部API(Google Maps など)を利用し、実際の位置情報の様子を画面表示機能により表示・案内ができること。		
	36	「サロンや通いの場などのインフォーマル資源」「介護保険サービス事業所」「相談窓口」「生活支援サービス」など異なるカテゴリーを同時に検索する場合、1回の操作で検索して、検索結果を同一の画面に表示できること。		
	37	「地区区分」「カテゴリー」「本会が指定する独自の条件(開催時間帯やボランティアの受入等を想定)」「キーワード」「費用(有償/無償)」など様々な条件を組み合わせた複合的な検索をする場合、1回の操作で検索して、検索結果を同一の画面に表示できること。 ※同一画面での表示は「リスト表示」及び「マップ表示」のどちらも対応していること。		
(キ) 地域資源情報個別表示機能	38	地域資源情報(マップ表示を含む)については、1資源につき1画面で表示できること。		
	39	項目の内容が空白の場合、関係者専用サイトでは空白である項目も表示されるが、市民サイトでは視認性を高めるため非表示にできること。		
(ク) 市民サイト/公開データ期間チェック機能	40	一定期間更新されていない情報を管理できる機能として、公開されている情報のうち、情報の最終更新日がシステム管理者の指定する日付以前のものについて、予めシステム管理者が一覧を出力できること。		
(ケ) 地域資源情報の集計機能	41	関係者専用サイトにおいて、地域資源情報の一覧表を作成できる集計機能があること。		
	42	集計機能はカテゴリー、地区区分、内部分析用に設定した項目などを自由に選択して表を作成することができること。		
	43	集計結果の件数から該当の一覧表示画面へ遷移できること。		
(コ) グループ連絡機能	44	関係者で情報交換するためのグループ連絡網が作れること。		
	45	グループは任意のアカウントごとに複数のグループ掲示板が作れること。		
	46	アカウントID がメールアドレスの場合、情報発信時にメールにて通知ができること。		
	47	グループ掲示板にはファイルを10個(1 ファイルあたり10MB 以下)添付できること。		
	48	過去の投稿内容は添付ファイルを含め保管ができること。		
	49	会合日程の調整機能や、簡易的なアンケートや出欠確認にも活用できる機能があること。		

(様式第4号) 狭山市地域資源管理システム機能要件表

事業者名
代表者名
担当者名

記入欄: 「○」…標準もしくは標準仕様で対応可能 「△」…オプションもしくはカスタマイズで対応可能 「▲」…代替案で対応可能 「×」…対応不可
※記入欄を「△」または「▲」にした場合はその費用を見積内を含むこと。記入欄を「▲」にした場合は実現方法を具体的に備考欄へ記載すること。

大項目	中項目	詳細	対応状況	備考	
	(サ) お知らせ機能	50	市民向けサイトの活用促進を目的として、各種事業の取組の報告や案内事項などを発信できるお知らせ機能(掲示板)があること。		
		51	お知らせ情報には拡張子「.pdf」「.ppt」「.pptx」「.doc」「.docx」「.xlsx」「.jpg」等のファイルを10個(1ファイルあたり10MB以下)添付できること。		
		52	指定した情報については「市民向けサイト」への公開可否を設定できること。		
	(シ) イベントカレンダー機能	53	研修会、講座開催などの「イベント情報」をカレンダー形式で表示・登録ができること。		
		54	「イベント情報」ごとに公開範囲は関係者専用サイトと市民向けサイトで指定ができること。		
	(ス) 団体ごとの活動ブログ機能の表示機能	55	市民が地域活動への参加を検討する上で、過去の活動や取組などの様子を確認した上で、安心して参加ができる情報提供を行うため、各団体や事業の詳細ページにおいて、過去の活動内容の記事や写真、団体が発信するSNSの表示ができる機能を有すること。		
保守業務		56	利用に関する問い合わせやシステム上の不具合などの報告に対応可能なサポートセンターを受注者の費用負担にて、用意すること。		
		57	受け付けた問い合わせについては月次で、不具合については即時に本会へ報告すること。		
		58	サポートセンターは、本会またはアカウント登録者から操作方法に関する不明な点などについて、24時間365日受け付け、操作方法の案内を行うこと。		
地域資源情報のデータ更新支援	情報確認用の帳票の作成	59	データの登録後に、掲載内容を活動団体等にヒアリングを実施する為の帳票としてPDF等の形式で、登録済みの全てのデータに対し納品すること。なお、本会が指定する団体には情報確認用の帳票を受託者がFAXで送付すること。		
		60	帳票については、登録済みの内容、地図、写真等が表示されること。なお、選択式の項目については、帳票出力時点の選択状況が把握できる状態で、システム登録上の回答選択肢を含めて、すべての項目が表示されること。		
	情報変更内容の受付窓口の設置	61	本会の職員からの情報変更の申し出について、平日9時～17時まで直通での電話による連絡受付が可能な、サポートセンターを設置して対応すること。受付事項に応じて、情報の修正や新規登録、削除の処理を実施すること。また、団体や本会の職員が記載した情報確認用の帳票をFAXで受け付け、記載内容に応じた修正を実施すること。		
市民配布用の地域資源情報リストの作成		62	システム内に構築したデータをもとに、市民や専門職が活用できるように加工した地域資源情報のリストを作成し、PDF形式で納品すること。なお、書式については、表紙やレイアウト、文字サイズ、イラストなどを含め、本会と十分に打合せを行い、決定すること。		

(様式第4号) 狭山市地域資源管理システム機能要件表

事業者名

代表者名

担当者名

記入欄: 「○」…標準もしくは標準仕様で対応可能 「△」…オプションもしくはカスタマイズで対応可能 「▲」…代替案で対応可能 「×」…対応不可
 ※記入欄を「△」または「▲」にした場合はその費用を見積内を含むこと。記入欄を「▲」にした場合は実現方法を具体的に備考欄へ記載すること。

大項目	中項目	詳細	対応状況	備考	
システムの有効活用に向けた支援の実施	63	生活支援コーディネーターの活動を支援し地域づくりの推進に向けた提案・運用支援を実施すること。			
	64	生活支援体制整備事業および生活支援コーディネーターの活動を熟知した者により、地域づくりを推進する上でのシステム有効活用と具体的な運用ステップを継続的に提案すること。			
	65	提案にあたっては、生活支援コーディネーターが担当する地域の特性や課題の分析に必要な地区ごとの集計表などをシステムから作成し、地域への問題提起の際に活用できる材料などを提示すること。			
環境整備	ハードウェアとソフトウェア	66	システム運用に必要なサーバ機等のハードウェア及びソフトウェアは、受注者が用意し、設置することとし、これに係る経費は受注者が負担する。		
	アクセシビリティ	67	ウェブアクセシビリティ規格(JISX8341-3:2016)の等級AAに準拠していること。		
	公開サーバと開発サーバ	68	受注者が用意するサーバは、システム改修時にも安定稼働できるよう、開発環境サーバと公開環境サーバを用意すること。		
	データセンター	69	日本国内に立地し、物理的なデータの保管場所が国内にあること。		
		70	耐震設備や非常用電源などの整備されたデータセンターであること。		
		71	災害発生時を含めて24 時間365 日(うるう年は366 日)運用し、システムの運用及び監視が国内で実施されていること。サーバ障害及びセキュリティに関する問題が発生した場合、速やかに対応できるようサーバの監視を24 時間365 日行うこと。		
	セキュリティ対策	72	受注者は、最新のパターンファイルが適用できるようウィルス対策を実施すること。		
		73	不正アクセス等の防御のため、ファイアウォール等の設置をすること。		
		74	入力フォームや認証が必要とされるページでは、暗号化された通信(SSL対応)が行われること。		
		75	受注者は、データベースに格納された情報等の保全措置として、サーバ内、複数記憶媒体への同時記録や外部記録媒体への日次でのバックアップ等を取得し、少なくとも5 世代分は任意に抽出し復元できるよう管理すること。		
76		機器・設備のメンテナンス等により、一時的にサービス停止を行う際は事前に本会与協議を行うこと。			

(様式第4号) 狭山市地域資源管理システム機能要件表

事業者名
 代表者名
 担当者名

記入欄: 「○」…標準もしくは標準仕様で対応可能 「△」…オプションもしくはカスタマイズで対応可能 「▲」…代替案で対応可能 「×」…対応不可
 ※記入欄を「△」または「▲」にした場合はその費用を見積内に含むこと。記入欄を「▲」にした場合は実現方法を具体的に備考欄へ記載すること。

大項目	中項目		詳細	対応状況	備考
	情報の保全措置	77	サイトの定期的なメンテナンス作業を実施する場合は、事前に通知したうえで、サイト運用を止めずに実施するか、夜間に実施すること。また、大規模なバージョンアップを実施する場合は、事前に協議し、協議結果に従って実施すること。		
		78	システム障害等が発生したときは、システムの完全停止を極力防ぐような対策を講じ、速やかに復旧対策を実施すると共に本会への障害等の内容の説明報告を行うこと。		
クライアント環境		79	本サービス構築・運用にあたり、住民向けサイト・関係者向けサイト・管理システムのクライアントの利用ブラウザ・OS・操作端末は以下のものを想定する。なお、バージョンは構築着手時の最新のものとする。稼働後、ブラウザ等の開発元からのサポートが終了した場合は、後継バージョンを利用することを想定するものとする。		
		80	<ul style="list-style-type: none"> ・利用想定OS : Windows8.1 以上、macOS、iOS、Andoroid ・利用想定ブラウザ : Microsoft Internet Explorer11、MicrosoftEdge、Firefox、Safari、GoogleChrome ・操作端末 : PC、タブレット、スマートフォン 		